

道

2022・3・23

通信 No 1675

臨時運営委員会・懇談会 本日6時～8時開催いたします。

吉野町市民プラザホール

臨時総会 3月30日(水) 午後6時～8時

吉野町市民プラザホール

ふきのとう



■団員の皆さんへメッセージ■

団員の皆さん、こんにちは！

先日、青島広志先生の初演オペラにも沢山の団員さんがご来場下さいまして、本当にありがとうございました。心から感謝致します。

コロナとの闘いも続き心身共に疲弊する日々が続くなか、他国では戦争などという信じられないことが起きてしまっていますね。

小坂先生はじめ団員の皆さまの様々な思いもメールなどで拝見しております。一日も早く争いが治まり無くなることを心から祈っております。

選曲の事なども改めて、且つとても慎重に柔軟にも考えていきましょう。

何でもかんでもノーではなく、しっかりその曲の本質を見極め判断してきめていけたらと思います。ウクライナの曲も是非やってみたいですね!!

今僕はとにかく、皆さんに会いたいよ！歌いたいよ!! 笑い合いたいよ!!! その日まで、気持ちをしっかりとって 歌う準備、心の準備をされて下さい。

音楽は必ず人を救ってくれます、信じて。

あ、27日のチャリティーコンサートも

きっと心が救われますよ～。

是非お気軽にいらして下さい！

清水一成

ロシア人ピアニストの一言に涙

無職 箕作 雄三
(東京都 81)

今月3日、東京・上野の東京文化会館で、ロシアのピアニスト、イリーナ・メジューエワさんのコンサートリサイタルを聴いた。冒頭、ウクライナ侵攻停止への願いや犠牲者への祈りを込め、3分ほど黙禱の時間があった。

そして全プログラムとアンコール1曲が終わった後、今度はマイクを手にした彼女が流暢な日本語で「一言お話しさせて下さい」と聴衆に語りかけた。祖国ロシアのウクライナ侵攻について「同じロシア人として恥ずかしく、ウクライナの人に申し訳なくて……」。ハンカチで何度も頬を拭いた。思

わず目頭が熱くなったのは私だけではなかったであろう。「私一人では今の状況をどうすることもできませんが、事態が少しでも好転することを祈り、犠牲者への哀悼を表するために最後のアンコール曲を演奏したいと思えます」。そんな趣旨の言葉と演奏に聴衆から心からの大きな拍手が送られた。メジューエワさん、ありがとう。彼女と我々の願いは、かなえられるなければならない。

2022/3/12 朝日新聞より抜粋

■チャリティーコンサート Do it 2022■

2022年3月27日(日) 13時開演

会場: 神奈川公会堂 (JR 東神奈川駅より徒歩3分)

入場無料